

ネクストリーダー育成ワークショップ

～モノづくり企業の未来を創るテクノロジー活用と事業開発アプローチ～

テクノロジー活用によるモノづくり企業のイノベーション（第14期）

- 幅広い視点から考え・整理できる力を身に付け、技術と時代の変化に対応し、新しい価値づくりに挑戦する「リーダー」を養成します。
- 社会起点で目的志向であり組織の境界を越えて共創しながら価値創造ができる個人（＝インタープレナー）の視座とスキルを身に付けることを目指します。

1.1 実施時期・回数・場所

[実施時期・回数] 2024年10月～2025年2月（計5回シリーズ）

[実施方法] 1、3、5回は集合開催（於：当センター）、第2回、4回はZoomによるオンライン開催

回/日程	開催形態	各回のテーマ
第1回 (10/28)	集合 (OSTEC会議室)	モノづくり企業におけるファシリテーションの基本 オープンプラットフォームとコミュニティを活用した新商品・サービスの共創
第2回 (11/21)	オンライン	エッジ AI 活用による付加価値づくりとエコシステム構築によるビジネス変革
第3回 (12/12)	集合 (OSTEC会議室)	テクノロジー活用と新たな成長市場への新規参入手法
第4回 (1/16)	オンライン	コア技術の強みを活かして取り組むオープンイノベーション
第5回 (2/27)	集合 (OSTEC会議室)	高い視座と幅広い視野をもたらす発想力

1.2 実施内容

- ・ファシリテーションの基本
- ・講義（各分野の有識者が事例を交えてポイントを解説。課題と方向性をレクチャー）
- ・グループディスカッション、発表（講義で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表）
- ・全体討議による議論やアイデアの深掘り
- ・第1、3、5回は1.5時間程度の意見交換会を開催（当センター内開催。19時頃終了）

1.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、リーダー、中堅社員（自社で参加にふさわしいと思われる方）
- ・募集人数：25名（定員に達し次第〆切）
*参加者数が10名に満たない場合は、開催を見送る場合があります。


1.4 参加費

- ・賛助会員：173,250円/名（消費税込み）
- ・非賛助会員：231,000円/名（消費税込み）
*参加お申し込みを受け付け後、請求書をメールにて送付いたします。

1.5 講義テーマと講師

*講師との調整により内容が若干変更となる場合があります。

	講義内容	(敬称略)
第1回 10/28	<p>「オープンプラットフォームとコミュニティを活用した新商品・サービスの共創」 東芝デジタルソリューションズ(株) ICTソリューション事業部 ifLink 推進室 部長 千葉 恭平</p> <p>講義概要 新製品、新サービス構築の最初の関門はゼロからイチを生み出すステップです。オープンプラットフォームとコミュニティを活用することによって、アイデアの触発やスピードアップに役立ちます。東芝が開発した、技術の自由な組み合わせでIoTデバイスやサービスを創ることができるオープンなプラットフォームには業界・企業・団体から垣根を越えて多彩な人材・アセット・アイデアが集まっています。ここではどのようにテクノロジーを掛け合わせて新商品・サービスを共創しているのか、様々な実例を通して共創を生み出すポイント学びます。</p> <p>[略歴] 2001年東芝に入社、デジタルソリューション事業に従事。2018年より、東芝の全社DX・CPS推進部門の戦略企画を担当。新たなデジタルビジネス創出/文化醸成を目的とした全社活動「みんなのDX」の立ち上げや、東芝の事業会社と社外を繋いで新ビジネス共創を促進するオープンイノベーションの枠組みづくりを推進。2019年より、ifLinkというプラットフォームオープン化のプロジェクトリーダーを担い、100社超の企業や団体が垣根を越えて“IoTの民主化”を目指し共創活動を行う「一般社団法人ifLinkオープンコミュニティ」の立ち上げと運営責任者を務め、様々なパートナーとの事業共創に邁進中。</p>	
第2回 11/21	<p>「小型で高性能なエッジAIチップの活用による付加価値づくりとビジネスの変革」 ローム株式会社 LSI事業本部 回路技術開発部 アソシエイトフェロー 西山 高浩</p> <p>講義概要 IoTや5Gなどの技術の発展に伴い、自動運転、産業用ロボット、ヘルスケアなどの分野に活用の期待が高まっているエッジAI。デバイス側で推論と学習が可能な最先端のAIを搭載するチップ開発プロジェクトを牽引してきた経験に基づき、エッジAIチップ技術の強み、その活用による付加価値づくりと新規事業開発、エコシステム構築による社会実装とビジネス変革に向けた取り組みを学びます。</p> <p>[略歴] 1995年京都大学大学院工学研究科卒業後、住友電工に入社し、カーナビの開発に従事。2000年ロームに入社し、光ディスクドライブ用システムLSI開発や、WiFi用システムLSIおよびモジュール開発に従事。2020年より、CREST(国プロ)にてオンデバイス学習AIの研究を開始し、チップ開発及び事業化を牽引。CPUコア開発などの先行技術開発も行い、それらを活用した複数の新規プロジェクトの立ち上げを主導している。</p>	
第3回 12/12	<p>「新たな成長市場への新規参入手法」 ～ものづくり企業におけるテクノロジー活用イノベーション～ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経営コンサルティングビジネスユニット 経営コンサルティング第2部 部長 プリンシパル 遠藤 慎良</p> <p>講義概要 従来の伝統的な業界の垣根を越え、新たなプレイヤーによる成長市場が次々と形成される事業環境下、ものづくり企業はどのようなアプローチでこの成長市場への新規参入を図るべきか。新規事業開発の名の下、多くの企業が陥っている失敗の典型例を理解すると同時に、具体的な事例を通じて自社のテクノロジーの強みを活かした市場参入の手法論を学びます。</p> <p>[略歴] 大学院卒業後、住宅設備メーカー(東証一部)総合研究所にて最先端の機能素材を活用した新商品および新規事業の開発活動に従事。2007年、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社入社。国内基幹産業に携わるBtoB製造業に対して保有技術を起点とした成長戦略、新規事業計画の策定、および実行支援コンサルティングに従事、のべ150件以上の案件実績を有する。</p>	


<p>第4回 1/16</p>	<p>「コア技術の強みを活かして取り組むオープンイノベーション」 ～大手メーカーの取り組みに学ぶ～ ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター 副センター長 兼 CVC 室長 三谷 太郎</p> <p>講義概要 業界をリードするメーカーが、どのように他社との協業で技術開発を加速し、課題解決や新規事業開発を進めているか、事例を交えてお話しします。デジタルやテクノロジーの活用による付加価値づくり、自社のコア技術を活かしたオープンイノベーションの進め方、スタートアップとの協業の取り組みを通じて得られた新規ビジネス推進のポイントや大事な考え方を学びます。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[略歴] 2011年京都大学農学部卒、ダイキン工業入社。管理会計や買収子会社である米国「Daikin Comfort Technologies North America, Inc. (旧 Goodman 社)のPMI等に関わった後、2015年に社外留職で投資銀行業務を経験。帰任後、2017年に技術開発とオープンイノベーションの拠点である「テクノロジー・イノベーションセンター」の副センター長に就任し、M&A や出資等のアライアンスを担当。2019年にはCVC室を立ち上げ、室長に就任。</p> </div> 
<p>第5回 2/27</p>	<p>グループ対抗ピッチ「2030年の顧客やユーザーに提供する『モノとサービスを組み合わせたエクセレントなビジネス』を考えよ！」 グループ対抗でビジネスアイデアをピッチ。各グループの発表を審査して表彰。</p>

ファシリテーターについて：

**黒田 聡 ((株)情報システムエンジニアリング 代表取締役社長、
(一財)テクニカルコミュニケーター協会 評議員、公益活動企画会議議長)**

東京生まれ。実務家として情報通信業を営む企業を経営する傍ら、テクニカルコミュニケーション技法の社会実装活動を展開。業界団体の創設にも関わり、本技術領域における日本の有識者として他国組織や有識者との交流も主導している。

2018年度から2021年度に大阪大学COデザインセンターの招へい准教授として工学コミュニケーションの研究と育成に関与。京都大学大学院医学研究科の非常勤講師、大阪大学大学院医学系研究科の招へい研究員や招へい教員としてヘルスコミュニケーションおよび健康情報の知識化と構造化の研究に関わりながら高齢社会に適したコミュニケーション技法の研究と社会実装に努めている。2023年度から大阪大学大学院工学研究科の招へい准教授として、ビジネスエンジニアリングに関する研究と育成に従事する。構造化技法に関する技術者として著書多数(いずれも共著)。情報提供システムおよび情報提供方法関連特許を日本、米国、中国などで多数取得している発明家でもあり、近年は実績を背景としたインタープレナーとして、異分野の専門集団との共創によってウエルビーイングの実現を目指すデータ活用事業を推進している。



1.6 基本的なスケジュール

*第5回は13:00～17:30ですが進行が異なります

スケジュール	実施項目
(10:00～12:00)	オリエンテーション・ファシリテーションの基本の講義 *第1回のみ
13:00～13:15	チェックイン (ワークショップの進行・参加者間の自己紹介)
13:15～14:00	講義 (前半) Q & A 5分含む
14:00～15:10	グループ討議①・発表・講師講評
15:10～15:15	振り返り
15:25～16:10	講義 (後半) Q & A 5分含む
16:10～17:20	グループ討議②・発表・講師講評
17:20～17:30	振り返り
(17:30～19:00)	意見交換会 (講師およびファシリテーターも参加) *第1、3、5回のみ

2. お申し込み方法

- 参加申込書に記入の上、メールでお送り下さい。
- グループワークの性格上、できるだけ同一の方が5回を通じてご参加ください。

3. 参加申込み先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター 技術振興部（担当：篠崎）
E-mail: innovation@ostec.or.jp

受講者の声

- ✓ゼロベースでビジネス案を考える機会は今中々経験できないので、非常に有意義だった。
- ✓講師が良く、アイデア構想から製品化まで実施された経験や社内突破の話は貴重だった。
- ✓特にファシリテーションの基本と最終発表は有意義だった。
- ✓自身の仕事がお金になるのか？は不安だったので、マネタイズ戦略が非常に勉強になった。
- ✓グループワークを通して、どれだけAIやIoTに関連する知識を入れても、正しくファシリテートできないと、集団で良いアイデアを出すのが難しいことを、身をもって経験できた。
- ✓バックグラウンドの異なる企業参加者との議論で異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザーとの打合せでも、ユーザーの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓社内の新規取組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進め方など、今回の経験が生きた。
- ✓堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

〈これまでの参加企業〉（敬称略・五十音順・参加当時の社名）

朝日放送テレビ／荒川化学工業／エネゲート／FCM／大阪ガス／大阪ガスケミカル／大阪ガスマーケティング／大阪冶金興業／沖電気工業／オリックス不動産／金井重要工業／カネカ／川崎重工業／関西電力／KANSOテクノス／関電L&A／かんでんエンジニアリング／関電システムソリューションズ／関電パワーテック／神戸製鋼所／近鉄グループホールディングス／きんでん／栗本鐵工所／KDC／最上インクス／堺化学工業／三信建築設計事務所／三洋化成工業／GSユアサ／JRC／ジェイテクト／島津ビジネスシステムズ／情報システムエンジニアリング／神鋼環境ソリューション／新コスモス電機／親和運輸／住友電気工業／積水インテグレート／積水化学工業／善友金属／ゼンユー／ソフトウェアエンジニアリング／Daigas ガスアンドパワーソリューション／大日本除虫菊／ダイセル／ダイヘン／太陽刷子／タカラベルモント／タクマ／竹中工務店／椿本チエイン／TOA／東西化学産業／東洋紡／中尾フィルター工業／ナルックス／日本カタン／日本製鉄／日本ピラー工業／日本触媒／日本ネットワークサポート／日本バルカー工業／パナソニック／阪急阪神不動産／日立製作所／日立造船／富士インパルス／フジキン／プロト／古野電気／北海道住電スチールワイヤー／ホンダエンジニアリング／三菱電機／三ツワフロンテック／村田機械／メタウォーター／モリタ製作所／和歌山大学

参加申込書（第14期）

メール: innovation@ostec.or.jp（大阪科学技術センター 技術振興部 篠崎宛）

申込締切日：2024年10月22日（火）まで *定員に達し次第、締切ります

機関名：		
所在地：〒 TEL：（ ） — FAX：（ ） —		
氏名	所属・役職	メールアドレス

個人情報の取扱いについて

- 本ワークショップへのお申込みにあたり、個人情報保護のため、（一財）大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
- ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連事業のご案内以外には使用しません。
- 個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。